宮崎県における飼料作物の生産利用技術の実態
第2報 サイレージの品質
松浦好敏・柄本 康・田村経治（宮崎県畜産試験場）
Yoshito MATSUURA, Yasushi ENOMOTO and Koukichi TAMURA: Culture and Utilization of Forage Crop in Miyazaki Prefecture. Quality of Silage

近年、本県においても、粗飼料のサイレージ利用が多
くなるにつれ、その品質、栄養成分含量などを明らかに
することが必要となった。このため、自給飼料分析
指導センターを活用し、その実態の一部を明らかにした
ので報告する。

1. 調査方法
1985年6月から1986年3月までに自給飼料分析指導セ
ンターで分析を行ったイタリアンライグラス241件、ト
ウモロコシ608件、ソルガム96件、トウモロコシとソルガムの混播110件のサイレージを対象に調査を行った。

2. 結果および考察
1) サイレージの水分含量とpHの分析 イタリアン
ライグラスは、水分が50〜90%、pHが3〜6とパラツキ
が大きく、しかも80%以上と高水分のものが一番草で25
%、二番草で31%もみられる。また、pHも高く、pH
4.5以上のものが一番草で33%、二番草で45%もみられる。
この二番草での高いpHは、80%以上の高水分サイレージ
の割合が、一番草より高いことも1つの要因と考えら
れる。トウモロコシ、ソルガム、トウモロコシとソルガム
の混播については、ほとんど水分が80%以下、pHが
4.4以下と比較的に良好であった。

2) 日本標準飼料成分表との比較 サイレージのTD
N、DCP、は、第1図のとおりイタリアンライグラスで
は、日本標準飼料成分表より1〜2%低いが、トウモロコシおよびソルガムではほとんど同じであった。イタリアンライグラスの高い粗灰分含量は、取種方法の57%を
占めているフレールハーベスター刈などによる土砂の混
入も1つの要因と考えられる。

3) サイレージの栄養比の分布割合 イタリアンライ
グラスサイレージの栄養比は、第2図のとおり4〜12で、
トウモロコシ、ソルガムは8〜18に分布している。この
ように、牧草の栄養物質の栄養比は8以上と高いため、
栄養比の低い飼料作物の栽培への導入やイタリアンライ
グラスサイレージなどの組合せにより、家畜に対す
て栄養バランスのとれた飼料の給与に努めることが必
要である。

なお、トウモロコシとソルガムの混播の栄養比は、ト
ウモロコシおよびソルガム単播の中間であった。